

主催：(一財)岡山セラミックス技術振興財団

共催：・日本セラミックス協会・耐火物技術協会中国四国支部

第2回 焼結技術セミナー

製造プロセス研究会の一環として、誘導加熱、可視化が可能な炉、直挿式酸素センサによる酸化・還元雰囲気制御の事例など焼結技術について各装置メーカーの御協力により、最新情報を提供する第2回焼結技術セミナーを開催しますので関係各位多数の御参加をお願いします。

日時

平成28年8月5日(金) 12:55~16:30

会場

岡山セラミックスセンター セミナー室
備前市西片上 1406 番地 18

定員

50名

受講料

無料

申込方法

別紙の申込書に参加者氏名や事前質問事項など必要事項を御記入の上、**FAX**か**メール**にてご送信ください。

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 担当：川端裕美(かわばた)
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
Email: erazoku@optic.or.jp

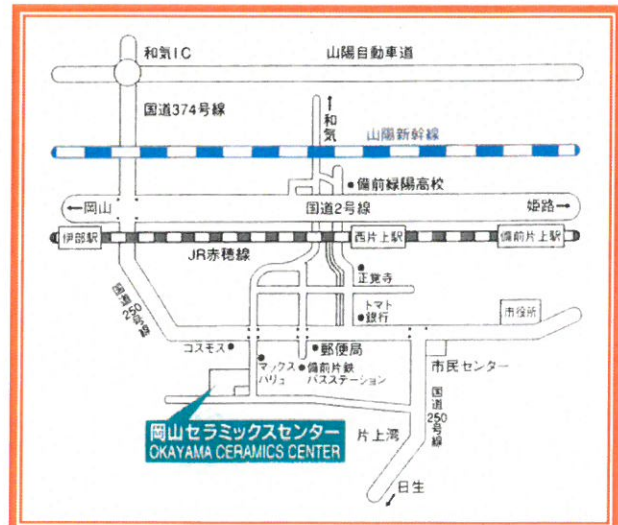
申込〆切

平成28年7月29日(金)

アクセス

JR岡山駅から約30km

- ・JR赤穂線で45分 西片上駅下車 徒歩約8分
- ・車で約1時間



プログラム

時 間	項目／概要
12:55-13:00	開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉鷹 啓
13:00-14:10	「材料分野における誘導加熱、抵抗加熱の最新技術—設備事例の御紹介」 富士電波工業株式会社 大阪営業所 川崎 顯
	<p>コイルに交流電流を流すことで交番磁界を発生させ、それを電気伝導体に印加することで渦電流を発生させて、そのジュール熱により伝導体自身を加熱するという、非接触型の加熱方式である誘導加熱とトースターなど、発熱体から発生する熱(ジュール熱)を上手に使うことで優れた働きをさせる抵抗加熱の最新設備の事例を紹介します。</p>
14:10-14:20	休憩
14:20-15:20	「ヒータとしての黒鉛材と可視化が可能な炉の紹介」 東洋炭素株式会社 基盤技術開発部 基盤技術開発グループ 主席研究員 吉本 修
	<p>黒鉛の特性などを説明し、これをヒータに用いた時の特長を紹介する。次に、直接通電型の電気抵抗率測定装置や炭素、黒鉛類の抵抗挙動について解説した後、3000℃炉内の試料可視化を実現した事例を紹介する。最後にこれら技術を応用した熱処理装置についても紹介する。</p>
15:20-15:30	休憩
15:30-16:30	「モトヤマが扱う各種電気炉の御紹介と雰囲気熱処理の話題提供」 株式会社モトヤマ 技術顧問 酒井了三
	<p>2014年12月開設の「モトヤマ テストセンター(MTC)」の御紹介と、テスト依頼状況の報告を行います。また、「直挿式酸素センサ」による酸化・還元雰囲気制御の事例を紹介します。</p>
16:30	閉会

7月29日(金) 〆切 川端 行

FAX0869-63-0227

erazoku@optic.or.jp

第2回 焼結技術セミナー 参加申込書

平成 28 年 月 日

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 御中

〒
住 所

会社名

申込者氏名

TEL
E-mail

FAX

以下のとおり参加申し込みます。

参加者氏名

氏 名	所属、役職	備考

講義の中でお聞きになりたいこと、質問事項など(講師へ事前に伝達いたします。)

--